

読書バリアフリー研究会 アンケート回答 (2017_5_27 滋賀会場)
 ~みんなに読む喜びと楽しさを伝えよう~

参加者 34、アンケート回収 33

1. この講座をどちらでお知りになりましたか。

新聞・雑誌	6	読売新聞 5
ちらし・DM	15	
友人・知人の紹介	3	
ウェブサイト・ブログ	3	県立図書館 HP 1、リブヨ 1
メーリングリスト	0	
その他	6	図書館 3、職場 2、トムソーヤ LD 親の会 1
合計	33	

2. 今回の講座の満足度をお聞かせ下さい。

満足	やや満足	やや不満	不満
23	10	0	0

その理由をお聞かせ下さい。

満足の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ディスレクシアについて、知人の子が当事者であるということもあり、関心はあって書籍を読んだりしていたのですが、専門家から具体例などを講義いただき、理解が進みました。 ・学習障害の講座しか聞けませんでした。が、パワーポイントがとても見やすかったです。職業柄（小学校の通級指導教室）、学習障害の講座や研修を受けてきましたが、今回ほどよく分かるお話はありませんでした。ですので、感激しました。河野先生ありがとうございました。 ・LDに関して具体的、詳しいお話が伺えて参考になりました。ありがとうございました。 ・公立小学校の学校司書をしています。インクルーシブ教育を行う中で、担任と支援担任との意識の違いや他児童との兼ねあい等で、マルチメディア DAISY 等の利用が進まない現状のため、自分自身がもう一度子どもたちの現状を把握したいという思いで聞かせていただきました。とても勉強になりました。ありがとうございました。鳥取の実践例もとても分かりやすく、これからは役立てたいと思っています。 ・I…図書館がすべての人にとって平等でなければならないのに、多くのバリアが存在している現実気づきました。バリアフリーへの解決策はあり、先進地域もあることから本県でもバリアフリーに向けて進めたいです。 ・II…学習障害の理解が深まりました。様々なアプリや教育手段のあることを知り、多くの困難を強いられている方々が、早く解放できるようにしたいです。 ・III…熱心に図書館経営されている実践がよく分かりました。実際の事例を紹介して下さったので、実践に結びつきます。図書館活用は“人”であることが実感できます。本県でも学校司書の全校配置を進めたいです。 ・自分の知らなかった知識をたくさん得ることができました。来館に障害がある人、従来の紙の本に障害がある人が一般の人と同じスタートラインに立つにはどうしたらよいか。必要なサービスと、それを周知する方法も考えていかないといけないと思いました。 ・とても勉強になりました。野口先生の“すべての人”は本当にすべての人なのかというお話は、図書館員として真剣に受け止めたいと思います。河野先生のお話は、本当に「目からうろこ」というか、自分にもできることがあるなあと、一人ひとりに合った支援があるのだと気づかされま

した。児島先生のお話は鳥取県の学校図書館の充実と、司書の方の熱意が本当に素晴らしいと思いました。

- ・仕事やボランティアで活用できることがたくさんありました。基本的な考え方を教えていただき、今後とも新しい気持ちで取り組んでいけそうです。
- ・学習障害について(少しだけ)理解できたところがあります。読み聞かせボランティアとしては、語りつがれてきたお話や絵本を読んでいくことだけを思っていました。本(紙)では読めない人たちがいることを知りました。でも一番強く印象に残ったのは「学習≠文字の読み書き」でした。
- ・耳にしたことはあるけれど…という程度のことやバリアフリーについて、身近に考える手がかりが得られた。
- ・お話をしてくださった先生方や財団の方の熱意と仕事を楽しむスタイルが伝わってきたこと。
- ・図書館(公共・学校)の在り方、読み書きの困難さについて深く学び直せただけではなく「いつでも自分で読める」しかけとしてわいわい文庫の可能性を感じることができたため。
- ・教育委員会主催の下手な研修よりも今回の研究会は有益、有意義でした。
- ・必要なことは、人により様々なので、支援の仕方も色々だとは思っていました。しかし、支援の仕方の内容の幅が広がったような気がします。何に困っているのか、どうしてほしいのか、説明できない子どもたちに働きかけていきたいと思います。
- ・アプリ、わいわい文庫等、知らなかったことを知ることができ良かった。タブレット、PC等の活用の必要性の確認ができました。
- ・佛教大学で特別支援教育を学んでいます。データや見解も最新で質の高いもので、参加してよかったです。(講習会等では、河野先生のおっしゃるように“訓練方法”など職旨の異なるもの、専門性の足りないものなどもあるので…)教育や図書の現場だけでなく、司書や(博物館)教員などの養成機関でも広めていけたら良いと思います。また大学の先生にも報告したいです。友達(新聞を読んでいない県外)の中にも「知っていたら(この会に)行きたかった」という人もたくさんいたので、人の発掘のためにも、ぜひ若い世代(学生)に広げていただきたいです。若い社会人がボランティア等に参加できる余裕がないのも現状なので、社会人になる前に興味を持つ機会があると継続につながると思います。
- ・発達障害の意味がよく分かりました。今日の研修を仕事に生かしていきたいと思います。
- ・特別支援学校に司書教諭が配置されていることの驚きを感じました。児童生徒の増加により、教室数や人員が足りず、図書に気が回っていないというのが現状だと思います。知的障害や発達障害の児童生徒に、何とか本を楽しんでもらいたいと試行錯誤していますが、紙媒体での工夫や、紙以外の教材等、非常に参考になりました。
- ・特に河野先生のお話は、ぼんやりとしかわかっていなかった事がくっきりと理解できました。分かりやすい説明と、ソフトの実演、そして実際の例が多かったことがありがたかったです。
- ・各講師とも図書館におけるノーマライゼーションを主題に独自の考察を展開されており、その着眼点は私にとって新鮮に感じられ、大変勉強になった。
- ・先生方のお話がとても分かりやすかったです。内容もバランスが取れていて今後の職務に役立てようと思いました。すべての子が楽しく読書できるようになればいいなと心を新たにしました。
- ・野口氏の講演…図書館の大切さ、必要性がよく分かった。
- ・河野氏の講演…いろいろな対応の仕方が学べたし、一人ひとりに対して適切な対応をされていることがよく分かった。最後の2つのアプリの紹介もありがたかった。
- ・児島氏の講演…学校司書、司書教諭どちらもおられ、楽しく活動されている様子が分かりました。その中でタブレットやマルチメディアを上手に活用されておられ、いいなあと思いました。先生の笑顔がすべてを表しているようでした。
- ・図書館のサービスでまだまだ抜け落ちている部分が多いことを痛感した。

- ・ディスレクシアについて、何も分かっていないことがよく分かった。もっと学ぶことが必要だと思った(少し早口でした)。
- ・知的障害児が本を実際に楽しむ様子が具体的に見られたのも良かったです。タブレットが有効なことがよく分かりました。
- ・学習障害について知らないことを、多く聞くことができた。公共図書館の職員として何ができるか考えていきたい。
- ・学習障害について具体的に学べた。図書館としてすべての人に読む、読書することへの喜びを手渡していけるように、どのような資料を整備し環境を整えていかなければならないかを学べた。

やや満足の理由

- ・先生方の話し方が分かりやすく勉強になりました。
- ・「すべての人」に対するサービスを考えるとき、視野に入っていない人たちがいるのではないかと、再度考えられるようになった。またそういう人たちには、いろんな角度からアプローチしてサービス対応していく必要性も感じた。
- ・様々な障害、障壁を持った方々に対して図書館が何ができるのか気づきをいただくことができました。特にディスレクシアに関して難しく考えすぎないことが大切だなと思いました。便利なアプリがたくさん出ていることに驚きました。
- ・制度、科学的、学校図書館という3つの視点から考えることができ、構成が良かった。わいわい文庫の説明は開始時に全部聞ければ内容が分かりやすかったと思う。会場での実物の展示が、iPadと両方あって良かったです。
- ・障害のある方々への図書館サービスについて、より深く知ることができた。
- ・公立図書館と学校図書館(週3日)に勤務していますが、どれだけ働きかけても本を借りない、手に取らない、でも読み聞かせは喜んで聞いているというのはなぜかということが分かったような気がします。どの先生の話も分かりやすかったです。
- ・時間がかけあしで足りなかったです。
- ・実際のマルチメディア DAISY 図書がどんなものか見られてよかった。
- ・どれもとても良い内容だったので、各講義ごとに質疑応答の時間をもっととっていただきたいかったです。一流の講師の先生のお話を聞かせていただく機会をありがとうございました。
- ・読み書き障害の方に実際に出会ったことがなかったが、読み書き障害のことが少しわかりました。現在知的障害施設で働いていて、言葉の大切さ、情報の伝え方に悩んでいた中で、DAISY 図書を知り、送っていただいています。なかなかうまく活用できていないので、うまく活用できるようにと思い参加しました。まだまだうまく活用する自信はないのですが、活用術を見ながら、自分なりに活用できるようにしたいと思います。
- ・学習障害について詳しく知ることができて、いろいろな配慮を知ることができ、勉強になりました。そのような児童がいたら、しっかり配慮して学べるようにしたいです。特別支援学校では、図書館を積極的に利用されていた。授業で活用していきたいと思いました。

3. その他、お気づきの点がございましたら何でもお聞かせ下さい。

- ・視覚障害以外の障害がある人と、読書、図書館の関わりについて、知る機会がなかなか持てないだったので、大変貴重な勉強会でした。今回学んだことを日々の業務に活かしていきたいです。また、電子図書普及事業部のお二人の、子どもたちに本の楽しさを伝えたい、DAISY を活用してもらいたいという情熱がよく伝わってきて刺激を受けました。企画して下さりありがとうございます。
- ・このような研究会がありましたら、またぜひご連絡ください。

- ・マルチメディア DAISY をいつも送っていただいています、なかなか有効活用ができずに申し訳なく思っています。校内での活用へと結びつけたいと思っています。
- ・伊藤忠記念財団のお取り組みに大変共感を覚えます。ますますのご発展を祈念いたします。
- ・「障害者の人にどう対応してよいか」今まであまり身近でなかったため、すごく身構えていた部分があるのですが、知識を得ることで少し勇気がもれた気がします。貴重なお話を聞かせていただきありがとうございます。
- ・紙媒体と電子媒体は敵対するものではなく補完しあうものという最後のお話は本当にその通りだと思います。図書館職員として必要な人に必要な資料を届けられるよう精進したいと思います。今日はこのような機会を与えていただきありがとうございました。
- ・すばらしい研究会への参加者が少ないのが残念です。もう数回参加させていただいていますが、次回は友人を誘ってまいります。
- ・最後に矢部さんがおっしゃったことは理解できます。道づれもOKですが、DAISYにする、選ぶ、書き手や画家はどのように選ぶのかとか、福音館や他出版社から、すでに出ている本を電子化するにあたっての難しさなども知りたくなりました。
- ・障害を持つ人たちに役立つものは、健常者の生活を豊かにするものでもあると感じています。
- ・多様性が大事にされる社会であるなら、こうした活動がこれからも発展するように自分にもできることを見つけたいと思う。
- ・生徒の豊かな人生経験につながるよう現場で活用法を練り上げていきます。
- ・とても分かりやすく、スムーズに理解することができました。また勉強できる機会があればうれしく思います。
- ・ますますのご活動、ご活躍を祈ります。道づれ作戦参加します。
- ・また、研修、ボランティアの機会があれば参加したいです。
- ・私は草津で民生委員をしています。本年から障害者部会に入って障害のある人とかかわっていますので、少しでも役立っていければと思う。
- ・LL ブックの認知度が低く、どんなタイトルがあるのか知ることができる、また、どのように入手するなどをみなさんに知らせていただける機会もあれば…。
- ・京都府立高校で勤務をしています。昨年、府立高校の司書部会でDAISY資料を体験してみたいということで「わいわい文庫」にお世話になりました。実際に DAISY を体験することができて、貴重な機会を得ることができました。
- ・昼食が事前に調べられればよかったです、カフェが混んでいた、コンビニ・スーパーなど付近の情報も教えていただければ、駅で買ってこれたかなと思います。ぜひまた京都府内でも研究会を実施してください。
- ・冒頭から主催者側による運営ミスで予定時間が伸び、それが後になるほど大きくなっていったことは弁解の余地がない。「商社マンじゃないから…」は詭弁です。
- ・マルチメディア DAISY の導入には、機器がともなうため、その予算がつくかどうかということも課題だと思いました。公共図書館にはあるので、またソフトを購入できればと思います。学校図書館に iPad があればいいなあ。
- ・未記入 : 13